



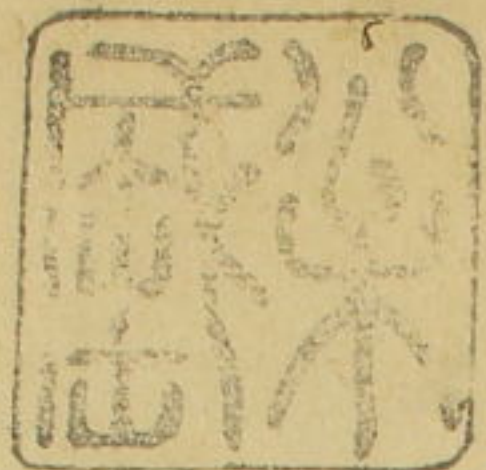
平野忠公書

中

壹	三
函	冊







本朝名公墨寶卷之中

目錄

伏見院

後伏見院

為圓親王





為道親王

為鎮親王

為朝親王

為純親王

近衛閑白信基

本門弥光悦



伏見院

山  
廬  
採  
薇

雲  
不  
狀



洞中栽樹

鶴先知

鳳池後面

新煉月

龍關前頭

薄暮山



擊豹印時

東海龍

正睡甲日

偏花風

落枕波聲

分岸萍夢



南 道板心

あやめ

生る

じあのむら

あやめ

あやめ

あやめ

あやめ







花のうら

あはれ

かき

ゆき

雪は

あはれ

あはれ

本

花と

あはれ

冬



長  
得  
乞  
巧  
少年

按

後伏見院

Handwritten notes in cursive script, likely a transcription of the text on the left page. The characters are written vertically from right to left. The first column contains the characters '長', '得', '乞', '巧'. The second column contains '少年'. The third column contains '按'. The fourth column contains '後伏見院'. There are also some smaller, less legible characters and marks scattered throughout the right page.



竹竿了取上

願總

多

賣藥修琴  
歸去重山風  
吹去桂花枝



世間甲子須

史の巻若仙

人其省其察

世のふりば夢

うはらりなむと

あふゆめもあは

あつらゝみれ



わがこゝろ

下 けりてあはれ

あはれ けりてあはれ

あはれ けりてあはれ

あはれ けりてあはれ

あはれ けりてあはれ

あはれ けりてあはれ

あはれ けりてあはれ



聲子夜凍  
聲了不響

贈一品為圓親王

らゝららにあらぬ

しゝともおぼしと

あはるよの雪う

うらえさる

雪子



老翁手晚

鬚相為

十月江南天

氣好可憐冬

氣似春華

上及春氣儘



例下官位取

屋右官亦自

越过七以白如燕

如燕入不知者乃

了然心与从

花燕结如何



欲供車馬大  
河過車解是  
交如然与法覺

厚念志便也  
又漢友者微生  
可屈死來在院



因履金金行

酒柄寫其其以冷

美室各各以奇

教藝歷老老

海海又亦相老

秋之天百之人子



蜀相の楷教を

三三納涼く地

河を流るる古部武

年毎々母指子

早の三時申

給也る一掃



多觀其始末者一經

之始牙始之也

河相之欲其的也

可來高之德也

乃如也

海濱之英敏也



海湯之直下無底  
旁無龜窟瀛煙浪  
最深處人傳中有  
三神山之生不死

藥服之羽化為天仙  
秦皇漢武信此語  
士年之採藥去蓬萊  
今古但聞名大山小



無負處海濤之風  
浩之眼字不見蓬萊  
萊塢不見蓬萊不  
敢歸老男朴女舟

中一老徐福文成多  
遊地之元右一處祠  
倚天表磯山塚上杜  
陵頭萊一志出風



吹簫弄笛何說也

之聲韻如子

素不為仙上

白日舞

見

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



みくのもく人

おしむる

ていしむる

おしむる

おしむる

衣のふけり

たしむる

おしむる

あはれ

あはれ







ふのちかたてん。

心の業一音

あはれ

まろ

まろ  
あはれ  
あはれ  
あはれ

一品の道親王

三山ふたつ河

手合合浦海

海峯の海



新

蓮

黄

起蟻

新

華

二分

半

新

一

白

あはれ原より

はるみまは

みまの

あはれ

かすり  
るる

いさめ月も



我々のいさよ

あつたふ

いさよ

いさよ

あつたふ

二品親王の鎮

いさよ 藤原の庭

あつたふ

いさよ

あつたふ







高き松毛時ぬあふ  
いさよふ山 雲  
—た葉の—  
ゆきま—にり

二品孝朝親王

風生竹葉忘  
閑外月照松



河聲之川

苗春不用開

城園花不落隨

風多入

夕之

花



池冷冰無三  
伏友松子風  
有 一 聲 林

去月心水記

記乃子

力也

當青蓮院殿二不為純親王



百の計乃い

計此三川

おの  
むすのあ

川  
て

る  
あふた

物

清  
智  
空  
静

溪  
静  
上



落日橋高

林深長

ひかりの光

はらけの空

しらぬ

あまのこ

あまのこ

けい



近衛殿信基

錦懷曉用雲

母殿白珠秋

鳳水精盤



いさるにたむ

まかせたむ

人のまかす

まかす

行言見月湯

心色夜雨函

猿断腸拜



ちけぬるに  
あま

やゆりしに  
あま

あまの  
あま

あまの  
あま

本阿弥光悦

あま

あま

あま

あま



+

二  
一  
一  
一

一  
一  
一

一  
一  
一

一  
一  
一

+

一  
一  
一

一  
一  
一

一  
一  
一

一  
一



レ  
レ  
レ

レ  
レ  
レ

レ  
レ  
レ

レ

レ

レ  
レ  
レ

レ  
レ  
レ

レ

レ  
レ  
レ

レ  
レ  
レ

レ  
レ  
レ



意之海底

清也

志之

卷

物之

神板

少也

清也



て

東の店衣自

て  
す  
て

て

あ

う

—  
あ



い  
ち  
ゆ

い  
ち  
ゆ

早  
乃  
之  
儀

ま  
ゆ

中  
卷  
終





